

メキシコ、政策金利据え置き～今後のペソの展望

- ① メキシコ中央銀行は、3月18日の理事会にて、政策金利を3.75%に据え置くと決定しました。
- ② 2月の緊急利上げ以降のペソの回復と、低水準で安定するインフレが背景にあります。
- ③ 主要国での原油生産減少を受け原油価格が回復、それに伴いペソも回復基調にあります。

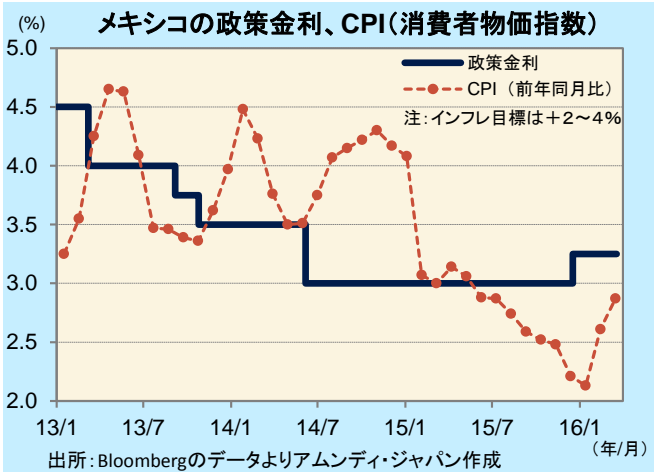
ペソの反発とインフレの低位安定が背景

メキシコ中央銀行(以下、中銀)は、3月18日に開いた定例理事会で、政策金利を3.75%に据え置くことを決定しました。16日に金利を据え置いた米国に追随した形ですが、2月17日の緊急利上げ以降、回復基調にある通貨メキシコペソ(以下ペソ)や、インフレ見通しの低位安定も背景にあります。

前月の緊急利上げと09年以来のドル売り直接市場介入以降、ペソは大きく反発し安定しており、輸入インフレを起因とした物価上昇圧力の抑制に奏功するとみられます。

また、2月のCPIは前年同月比+2.87%と1月の同+2.61%よりやや加速しましたが、中銀目標の+3%を依然下回っており、数ヵ月間は上振れるリスクはあるものの、年末には+3%以内に収束する見通しです。

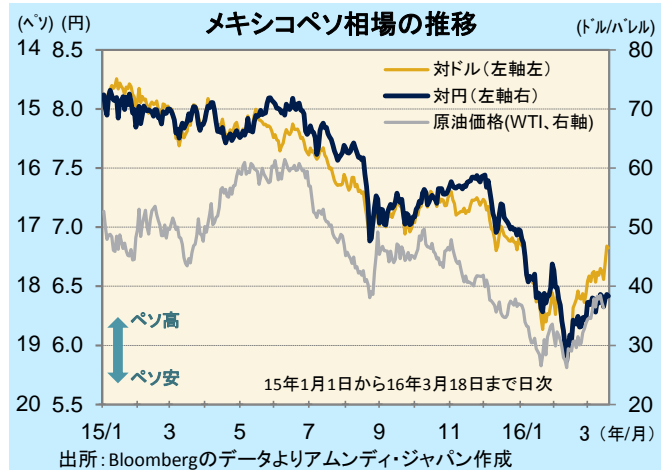
中銀は、「国際的な金融市場のボラティリティは不可避であり、原油の需給アンバランスがきわめて重要である」としながら、引き続き為替動向と米国の金融政策を注視していく姿勢を示しています。



原油価格回復に伴い、ペソも回復基調

原油からの収入が歳入の約20%を占めるメキシコは原油価格の影響を受けやすく、原油価格の暴落とともに、ペソも大きく売られていました。ただ、ここ最近では米国やOPEC加盟国の生産量減少により、原油価格は1バレル40ドル台まで回復し、それに伴いペソ相場も反転の兆しが出始めました。

さらなる需給改善が続けば、ペソ相場の後押しにつながる可能性も期待できます。



当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、全て受益者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に以下のような手数料がかかります。手数料率はファンドによって異なり、下記以外の手数料がかかること、または、一部の手数料がかからない場合もあるため、詳細は各ファンドの販売会社へお問い合わせいただくか、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託の購入時: 申込手数料

投資信託の換金時: 換金(解約)手数料、信託財産留保額

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。間接的負担には、その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等が含まれます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の費用がかかることがあります。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。